

留学報告書

記入日：2026年5月13日

(所属学部・学科)	経営学部 経営学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	フランス
留学期間	2025年9月～2026年5月
留学時の学年	3年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2026年5月12日
明治大学卒業予定時期	2027年3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：NEOMA Business School 和文：ネオマ経営大学院
所属学部またはコース名	
キャンパスの所在地	ランス
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期：1月～5月（期末試験期間：4月、5月） 秋学期：9月～12月（期末試験期間：12月）
所属学部の学生数	9500名
留学生の割合	10%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料		0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	€3470	642,000円	一ヶ月：82,875円
食費	€2000	370,000円	一ヶ月：46,250円
通学費	€0	0円	一ヶ月：0円
学校用品	€5	900円	
教養・娯楽費		85,700円	通信費、ジム、書籍、サブスクリプション
被服費		38,600円	
医療費		0円	
保険費		85,500円	保険会社：東京海上日動
渡航費		144,000円	
旅行費	€4070	753,000円	留学中に旅した国：イギリス、ドイツなど
語学学校		0円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金		-1,180,000円	奨学金：-880,000円 助成金：-300,000円
その他	-€1,100	-203,000円	フランス住宅補助金
合計		736,700円	

渡航について	
1) 航空券を購入した時期	
<input type="checkbox"/> 留学先へ出願後 <input checked="" type="checkbox"/> 入学許可書受領後 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ取得後 <input type="checkbox"/> 出発直前 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

2) どのように購入しましたか？	
Sky Scanner 経由で往路は航空会社サイトから購入、復路は代理店サイトから購入。	
3) 渡航経路を教えてください。	
(往路) 成田空港－仁川空港 (経由) －アブダビ空港 (経由) －パリ CDG 空港 (復路) パリ CDG 空港－ホーチミン空港 (経由) －成田空港	
4) 航空券代金	
利用航空会社： 往路： エアジャパン航空, エティハド航空 復路： ベトナム航空 合計：144,000 円	
5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。	
長時間の乗り継ぎでは、想像以上に体力を消耗するため、十分な休息と余裕を持った行動を心掛けることが重要です。また、受託手荷物の重量オーバーや保安検査場での混雑など、思わぬアクシデントが発生する可能性があります。そのため、余裕を持って3時間前には空港に到着することをお勧めします。	
留学中の滞在先について	
1) 種類 (留学中の滞在先)	
<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数：)	
3) 住居の探し方	
<input type="checkbox"/> 留学先機関が斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探す	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)	
利用交通機関	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
通学時間 (片道)	15 分
5) 滞在中の食事について	
【平日】	【休日】
朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
晩： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	晩： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)	
滞在先については、まず学校からの距離を重視して探すことをお勧めします。学校の近くに住むことで、朝早い授業の日でも時間に余裕を持って行動できるほか、海外では公共交通機関の遅延が頻繁に発生するため、その影響を受けにくいという利点があります。また、現地では物価が高いこともあり、食事はほとんど自炊で賄っていました。自炊をすることで生活費を抑えられるだけでなく、料理のスキル向上にもつながります。これから留学する人には、通学の利便性と日々の生活コストの両方を考慮しながら滞在先を選ぶことをお勧めします。	
現地に関する情報	
1) 留学中は病院にかかりましたか？	
<input type="checkbox"/> はい (利用機関名：) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？	

□はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/> わからない	
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？	
留学先が同じ友人に相談していました。	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない	
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ネット (参考サイト:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (在パリ日本大使館からのメール)
防犯対策	
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
□はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？	
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	授業や就活で使用
インターネット	情報収集、翻訳など
携帯電話	メッセージ送受信など、日本と変わらない用途で使用
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
海外送金アプリ Wise や Revolut を通じて自ら送金していました。手数料が他社と比べて低く、評価も良いためお勧めです。	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
ほとんど現地で調達可能であるため特にありません。強いていうのであれば、日本で好きな食品などがあれば持参すると思います。その際、検疫に引っかかる可能性があるため、渡航先地域の持ち込み制限・禁止品を事前に確認することを強く推奨します。	
進路について	
1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
渡航前(3年4月頃)からすでに就職することを決めて就職活動を開始していた。	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	2月
企業名	(アクセンチュア株式会社)
業界	コンサルティング
その企業或いは業界を選んだ理由	海外とのネットワークが強く、クロスボーダー案件が多いのがグローバルに活躍することを志す私自身にとって魅力的だったため。
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
就職活動の時期と留学の時期が重なることに不安を感じる学生も多いと思いますが、個人的には留学を選ぶことを強くお勧めします。近年では、コロナ禍以降に面接やインターンシップをオンラインで実施する企業が大幅に増加しており、海外に滞在しながらでも柔軟に就職活動へ参加できる環	

境が整っています。時差への対応は必要になりますが、留学先から面接や企業説明会に参加することは十分可能です。

また、留学中の学生を対象としたキャリアフォーラムも非常に有効な機会です。例えば、Boston Career Forum や London Career Forum では、幅広い業界の企業が参加しており、留学期間中に内定を獲得する学生も少なくありません。就職活動と留学を両立させたい学生にとって、積極的に活用する価値のある機会だと思います。

何より、留学先では文化の違いに触れ、世界各国から集まる学生と交流し、日本とは異なる形式の授業を受けることで、多くの刺激と学びを得ることができます。こうした経験は視野を大きく広げ、自身の価値観や将来の方向性を見つめ直す貴重な機会になります。私自身、就職活動の時期と重なることへの不安はありましたが、それでも留学に挑戦したことに全く後悔はありません。この経験はかけがえのない財産になったと感じています。就職活動との両立に不安を抱えている学生にも、ぜひ留学という選択に挑戦してほしいと思います。

5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。

進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	

6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。

--

7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。

--

留学に関するタイムチャート

2024年8月末～ 10月初旬 募集要項公開～選考試験日	<ul style="list-style-type: none"> ・留学を志し、募集要項を確認する。 ・1ヶ月の勉強の末、IELTSを受験する。
2024年10月～ 2025年4月 合格発表後～出願準備期間	休学しており、オーストラリアでワーキングホリデー参加していたので、現地で働きながら実践的な英語力を培った。
2025年4月～7月 出願後～渡航の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・出願 ・フランス大使館での学生ビザ取得 ・現地学生向けの賃貸予約サイトで住居の確保 ・履修登録 ・保険加入など
2025年8月 留学開始直前	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航書類の確認 ・パッキング

2025年9月 留学開始	<ul style="list-style-type: none"> ・留学開始 ・住居の契約・ ・現地での社会保険申請 ・家賃補助制度の申請
2025年9月～12月 留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席 ・旅行や現地で作った友人との交流を深めることも忘れないよう両立
2025年12月 留学中（或いは帰国後）	<ul style="list-style-type: none"> ・秋セメスター終了 ・春セメスターの履修登録
2026年1月～4月 留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・秋セメスター同様、授業に出席しながら、旅行や現地で作った友人との交流を深める。 ・就職活動が本格化し、面接とも両立させる必要があった。
2026年5月 帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの日本を楽しむ。 ・語学学習を継続する。

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
<p>私が留学を選択した根底には、豪州でのワーキングホリデーの経験があります。多国籍な環境での求職競争を通じ、世界での活躍には語学力に加え確固たる専門スキルが不可欠だと痛感しました。そこで専門性を高めるべく、サステナビリティ先進地域の欧州への留学を決意しました。最先端のESG経営を学び、多様な留学生と議論して将来の財産となるネットワークを築くことが目的です。この学びは将来の夢の実現に繋がると考え、留学を決意しました。</p>	
語学について	
受験した語学能力試験	<input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	<p>「英語は学問ではなく、人と対話するための道具である」という考えのもと、実践的な「話す・聞く」機会を増やす学習法が最も効果的でした。机に向かうインプット学習も大切ですが、それ以上に多様な背景を持つ人々と積極的に交流することを重視しました。様々なアクセントの英語に触れ、自分の言葉で発信する回数を圧倒的に増やすことで、発音などの語学力だけでなく、実践的な会話に対する自信を培うことができました。</p>
総合的なアドバイス	<p>IELTSの基準点到達は留学準備における最大の壁となるため、最低2ヶ月の準備期間を設けることを強く推奨します。私は締切1ヶ月前に留学を決意したため、非常に切羽詰まった状態で勉強に追われました。語学試験は純粋な英語力以上に、出題傾向や試験形式への「慣れ」がスコアを大きく左右します。時間をかけて適切な対策を行えば必ず結果は伴うため、皆さんは計画的に余裕を持って学習を進めてください。</p>

この留学先を選んだ理由を教えてください。	
<p>私が NEOMA 経営大学院を選んだ理由は二点あります。第一に、世界中から留学生が集まる極めて国際的な環境である点です。多様な背景を持つ学生と学ぶことで、国際的な視点を養えます。第二に、国際認証の三冠を獲得した教育機関において、欧州特有の実践的な授業を受けられる点です。充実したマネジメント等の実践的な議論を通じ、世界に通用する経営学のスキルを深く習得できると考え、留学先を決めました。</p>	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	<p>キャンパス全体は比較的コンパクトで、例えるなら日本の大きめの高校に近いサイズ感です。各教室の広さも日本の中学・高校の教室と同程度の規模となっています。そのため、大規模な大学に見られるような大講義室とは異なり、授業中の教授や学生同士の距離が非常に近く感じられます。アットホームな雰囲気の中で気軽に質問や議論がしやすく、教授陣とも密度の濃いコミュニケーションが取れる、非常に魅力的な学習環境です。</p>
学生	<p>授業の約 1 割は留学生が占め、留学生専用の科目も用意されているなど国際色豊かな環境です。現地の学生は非常に発言が活発で、堂々と自分の意見を主張します。その姿勢から、間違いを恐れない文化が根底にあることを強く感じました。また、大半の授業がグループワーク主体で進められます。固定のメンバーと協力して最終課題までやり遂げるため学生同士の絆が深まりやすく、非常に仲が良い和やかな雰囲気が広がっています。</p>
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	<p>正規学生との交流は、主に授業内での関わりが中心でした。前述の通りグループワークが非常に活発な環境であるため、チームの一員として現地の学生と密に協力しながら課題に取り組む機会には恵まれていました。一方で、私自身のフランス語力への不安から一歩踏み出せず、授業外で現地学生と深い交友関係を築くには至りませんでした。もっと積極的に関わればよかったという思いは、今回の留学経験における大きな後悔です。</p>
留学生との交流	<p>留学生との交流は非常に活発に行うことができました。定期的にディナーパーティーを開催したり、友人たちとイタリアへ旅行に出かけたりと、授業外でも密な時間を共有しました。結果として、多様な国の学生と強固なネットワークを築くという当初の目標を達成できたと感じています。特にカナダ、スロバキア、ポーランド、アメリカ、台湾、韓国から来た学生たちとは親交を深め、一生の財産となる出会いになりました。</p>
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
<p>留学先には留学生向けの交流を主催する学生団体があり、定期的に様々なイベントが開催されました。そのため、授業外でも留学生同士が交友関係を深める機会は非常に豊富でした。特に印象に残っているのが、留学開始直後に行われた Welcome Day です。少人数のグループで協力して多様なアクティビティに挑戦したのですが、ここで出会ったメンバーとは意気投合し、帰国するまで続く深い友人関係を築くことができました。</p>	
課外活動について教えてください。	
<p>留学先には部活動や学生団体など、幅広い課外活動のコミュニティが存在し、自由に参加できる環境が整っています。私自身は、就職活動や旅行の予定が頻繁に重なり、コンスタントな活動への参加が難しいと考え、特定の団体への所属は見送りました。一方で、同じく日本から留学していた別の学生は、アジアの文化を研究する団体に所属し、イベント運営の手伝いなどを通じて積極的に活動の幅を広げていました。</p>	
一日の課題の量を教えてください。	
<p>留学生は週の履修授業数が比較的少ないため、日々の課題量に圧倒されることはありませんでした。しかし、どの授業でも定期的なレポート提出や、予習として 10～15 ページ程度の英文記事の読み込みが求められます。平均的な週の作業量としては、文献を読むこととレポート 1 枚程度は執筆していたと感じます。さらに、これらに加えて中間・最終プレゼンテーションに向けた準備も並行して進める必要が</p>	

あり、継続的な学習が求められました。

期末試験について教えてください。

期末試験は、主に記述式で授業内容に沿ったケーススタディが中心でした。単に授業内容を暗記するだけでは不十分であり、授業で扱ったビジネスフレームワークや専門的な概念を、自身の言葉で説明できるレベルまで深く理解しておく必要があります。また、私が実際に受験した科目は制限時間がタイトに設定されており、試験中にじっくりと考える余裕はありませんでした。

留学先で直面した困難（壁）について教えてください。

留学先で直面した最大の壁は、英語でのプレゼンテーションです。私自身、日本語でのプレゼン経験すら乏しかったため、当初は非常に高いハードルに感じました。しかし、実践を重ねる中で、事前に用意した原稿をただ暗記して読み上げるのではなく、多少つたない英語でも自身の言葉で語ることに意義があると気づきました。完璧さよりも、伝えようとする姿勢と思考を整理して発話することが、最も効果的だと学びました。

これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。

留学に少しでも迷いがあるなら、迷わず行くべきだと考えます。留学を通じて異なる文化や新しい授業スタイルに触れ、世界中の学生と出会えたことは、私にとってかけがえのない経験であり、一切の悔いはありません。私自身は自費で留学したため経済的な苦勞もありましたが、現在は奨学金や助成金制度が手厚く用意されているため、想像以上に費用は抑えられます。一生に一度の貴重な機会です。ぜひ勇気を出して挑戦してみてください。

留学先で履修した授業科目

記入日：2026年5月28日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先	NEOMA Business School
2) 留学先で取得した単位数	55
3) 本学で認定された単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 23 単位 <input type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数：単位） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）
4) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
FL.1- French for Communication A1 Beginner	
科目設置学部	FLE
履修期間	Fall Semester
留学先の単位数	5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 180 分の授業が週 1 回
担当教授	Isabelle Gambier
授業内容	フランス語初級者向けに動詞の活用や、会話をする上で有用なフレーズを学び、フランスで生活する上でのフランス語能力を身につける。
試験・課題など	授業毎の復習課題、最終プレゼンテーション（フランス語で 3 分程度の自己紹介）、期末試験
感想を自由記入	第二外国語として学習していたフランス語の知識を学び直すのに最適だった。
履修した授業科目名②	
Change Management and Digital Transformation ELI	
科目設置学部	CBM
履修期間	Fall Semester
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他（オンデマンド）
授業時間数	1 回 180 分の授業が週 1 回
担当教授	Florence Duvivier
授業内容	この授業では、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルや戦略を構築し、変化の激しい環境で企業の競争優位を実現する方法を学ぶ。
試験・課題など	授業毎の選択式のクイズ課題、レポート 15 枚程度の最終レポート（ケーススタディ）
感想を自由記入	ZARA の DX 化の課題を通じて、企業が競争優位を築くためにはデジタル技術そのものだけでなく、それを活用する戦略や組織変革が重要であることを実感した。
履修した授業科目名③	

CROSS-CULTURAL MANAGEMENT AND INTERCULTURAL COMMUNICATION	
科目設置学部	ECH
履修期間	Fall Semester
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 180 分の授業が週 1 回
担当教授	Shota Kawasaki
授業内容	この授業では、自文化と異文化への理解を深め、文化の違いが組織や人々の行動に与える影響を学ぶことで、多様性を強みに変えながら国際的な環境で適応・活躍する力を身につける。
試験・課題など	グループでの最終プレゼンテーション、個人でのレポート課題 (3 回)
感想を自由記入	文化の違いは単なる価値観の違いではなく、組織運営や人間関係に大きな影響を与えるため、多様性を理解し適応する力が国際的な環境で活躍するうえで重要であると感じた。
履修した授業科目名④	
Entrepreneurship	
科目設置学部	GBBA
履修期間	Fall Semester
留学先の単位数	5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 180 分の授業が週 1 回
担当教授	Clinton Ofoedu
授業内容	この授業では、実践的なプロジェクトやフィールドワークを通じて、有望なビジネス機会を発見し、それを事業として立ち上げるための起業・社内起業のプロセスを学ぶ。
試験・課題など	中間・最終グループプレゼンテーション、プレゼンテーション前のグループレポート
感想を自由記入	この授業では、実践的な活動を通じてビジネス機会の発見から事業立ち上げまでのプロセスを学び、起業家として必要な発想力と行動力を身につけられる点が非常に魅力的だと感じた。
履修した授業科目名⑤	
International Management ELI	
科目設置学部	CBM
履修期間	Fall Semester
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他 (オンデマンド)
授業時間数	1 回 180 分の授業が週 1 回
担当教授	Florence Duvivier
授業内容	この授業では、グローバル化や国際戦略、人材の国際移動、知識移転、多国籍企業の管理手法などを通じて、国際経営の仕組みと課題について学ぶ。

試験・課題など	ケーススタディ レポート形式2回
感想を自由記入	国境を越えた事業運営には多くの複雑な要素が関わっており、国際経営を成功させるには戦略的な視点と多面的な理解が不可欠であると感じた。
履修した授業科目名⑥	
Brand Marketing	
科目設置学部	GBBA
履修期間	Spring Semester
留学先の単位数	5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回 180 分の授業が週1回
担当教授	Marie-Michèle Vassiliou
授業内容	この授業では、ブランドマーケティングの理論と実務を学び、ブランドや製品の価値を最大化するためのマーケティングの役割と戦略について理解を深める。
試験・課題など	最終プレゼンテーション課題、期末試験（記述式、ケーススタディ）
感想を自由記入	ブランドは単なる商品名ではなく、企業価値や競争力を左右する重要な資産であり、その育成と管理が経営において極めて重要だと感じた。
履修した授業科目名⑦	
Data Management ELI	
科目設置学部	Master in Management
履修期間	Spring Semester
留学先の単位数	5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他（オンデマンド）
授業時間数	1回 180 分の授業が週1回
担当教授	Tamara Tomanic
授業内容	この授業では、データの特性や価値、データセンターの仕組み、そしてデータ管理を支えるソフトウェアについて学び、データマネジメントの技術的・運用的な理解を深める。
試験・課題など	授業視聴、期末テスト
感想を自由記入	現代のビジネスにおいてデータは重要な資産であり、その管理の仕組みを理解することが企業の意思決定や競争力向上に直結すると感じた。
履修した授業科目名⑧	
Advanced Strategic Marketing	
科目設置学部	PGE (MIM)
履修期間	Spring Semester
留学先の単位数	5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()

授業時間数	1回180分の授業が週1回
担当教授	Diane Ceccarelli
授業内容	この授業では、STPや持続的競争優位の考え方を基礎に、企業・顧客・競合の視点から市場環境を分析し、ブランド構築や市場の成長段階に応じたマーケティング戦略を学ぶ。
試験・課題など	グループケースワーク（3回、レポート形式）、期末試験（選択式＋記述式）
感想を自由記入	マーケティング戦略は企業の競争優位を築き、市場環境の変化に応じて成長を実現するための重要な経営戦略であると感じた。
履修した授業科目名⑨	
Business Ethics ELII	
科目設置学部	CBM
履修期間	Spring Semester
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他（オンデマンド）
授業時間数	1回180分の授業が週1回
担当教授	Paul Roberts
授業内容	この授業では、企業不祥事の事例をもとに、経営戦略やマーケティング、財務、ガバナンスなどにおけるビジネス倫理の重要性と実践方法について学ぶ。
試験・課題など	選択式クイズ課題、ケーススタディ（3分程度の動画レポート）
感想を自由記入	企業が持続的に信頼を築くためには利益追求はもちろん、倫理的な判断と行動が不可欠であり、ビジネスの倫理は現代経営の根幹を成す要素であると感じた。
履修した授業科目名⑩	
Strategy and Sustainability	
科目設置学部	ECH
履修期間	Spring Semester
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回180分の授業が週1回
担当教授	Hureau Pascal
授業内容	この授業では、気候変動や資源枯渇、貧困といった社会・環境課題に対応しながら持続可能なビジネスを実現するための戦略的な考え方と分析手法を学ぶ。
試験・課題など	授業毎のディスカッション記入（意見、感想、他者の意見に対する反応 etc.）、中間・最終グループプレゼンテーション（企業のケーススタディ）
感想を自由記入	企業の成長と社会・環境への貢献を両立させることがこれからの経営において不可欠であり、サステナビリティは競争力の源泉にもなり得ると感じた。